

● 今年第2回親子で遊ぼう学ぼう魚とり総勢 59 人が集う 梅雨の雨が降る 17 日

集合時間の 8 時ごろから雨が降り出した。実施かどうか迷ったが、徐々に西の空が明るくなった。開催の方向に向かっていると判断。

堤防でのスタッフ集合、レンジャー事務局の松岡氏から「雲の切れが間もなく訪れる中止の必要はないらしいとの情報を得る。9 時 30 分、かなりの皆さんが集合される。スタッフも予想を超える集まりとなった。今年の初回は増水で、中止となったので、実質的に初めての開催である。集合時間を 5 分延長して、遅れてくる人を待つ。この間、携帯電話での問い合わせが連続して入る。会場現場に移動。「草内渡しの浜親水公園」に到着し、ライフジャケットを配布して装着を指導。中には装着を拒否する子どもがおり、保護者が粘り強く説得される。春からすでに 2 回草刈りを実施したので見晴らしは抜群。素晴らしい会場に変身していた。開会式で諸注意やスタッフの自己紹介、魚とりの目的を話し、けがの無いよう事故の防止に注意をして北野、中榮、福井さんの 3 人のリーダーで魚とりを開始。一回目の休憩を設定したが、最上流部班は休憩することなく魚とりに夢中、11 時 20 分にやっと全員が休憩集合。魚を捕獲できなかった子どもはなく、全員が満足顔だった。中には流れに身を任せて水と戯れる子どもも多数出現。ウシガエルや亀などを使って外来種の解説、外来種の多くは人が持ち込んで飼育できなくなって放置した結果、今では悪者にされているといったお話がされた。この日のスタッフは悪天候にもかかわらず 20 人も顔を揃えた。久しぶりに参加者が感謝の言葉をたくさん述べられ大変気持ちのいいイベントになった。

確認した生き物 ウシガエルとそのオタマジュアクシ オオクチバス コクチバス ブルーギル ヨドゼゼラ オイカワ ヌマムツ タモロコ モツゴ ニゴイ フナ コイ ドンコ ドジョウ ヨシノボリ タウナギ ナマズ テナガエビ テナガエビ クサガメ アカミミガメ その他コオイムシ マツモムシ ギンヤンマのヤゴ シオカラトンボのヤゴ ハグロトンボのヤゴなどでした。

● 第2回夜の生き物調べ 点灯して 25 分で 5500 匹の生き物を確認 18 日

マスコミ各社に案内記事をお願いした。しかし翌日が平日で登校日なので、夜 8 時 30 分まで現場での観察は少し無理がある計画だった。午前 10 時から事前調査を行って、参加者への下準備を滞りなく整える。桜谷先生も周遊通路をくまなく点検、ポイントを調べていただいた。白布の吊り下げ、誘蛾灯の配置など調査準備も完全に整えられた。昨年の経験があったので、スムーズに準備が出来た。金田さんや播川さんによる白布張りは、丁寧に重しや押しピンを使って風による揺れを防止する対策も行っていた。5 時には点灯テストも済んで夕闇の訪れを待つだけとなった。準備がスムーズに出来上がったので、予定時間午後 7 時 30 分まで持て余す時間があった。桜谷先生が周遊通路を一巡、その中でコクワガタを発見したので聞いて、連れて行くと中西康太君が強烈に主張、お母さんと先生の 3 人で探しに行くが空振りでした。20 分後に同じところにいるはずがない。しかしその時に足元にマムシを発見し、写真に撮影された。農園には確実にマムシが生育している証明がされた。点灯時間になった。約 25 分後に白布に集まってきた虫を 6 人で数えらるとなんと 5500 匹となった。昨年と同じ白布の面積だったが、数匹と比べると段違いの実績だ。今年は農園の雑草の刈取り時期を遅らせ残しておいたので、これだけ集まったのではないかと思われる。ニイニイゼミやアブラゼミ、カナブン、ゲンゴロウ、オケラなど 29 種が見られた。桜谷先生の同定能力のすごさに恐れ入りました。小さな小さな昆虫を見て、ちゅうちょなく名前を即座に判定されました。私たちは見つけるのに必死なのに特徴を解説いただきました。夜の観察会は 8 時 35 分に終了しましたが、一般的には一晩中点灯して集まってくる生き物を観察するのが通常らしいのですが、来年には一晩中観察するつもりで十分な体制を準備しましょう。（夕食夜食朝食）

確認した生き物 ゲンゴロウ A ゲンゴロウ B コガネムシ カナブン ニイニイゼミ ゴミムシ コオロギ ヨトウガ ウシアブ ヒグラシ ケラ シデムシ コガタスズメバチ ガガンボ ハネアリ キノコムシ ベッコウハゴロモ クサギカメムシ メイガ ナミイガラ シャチホコガ ホソカメムシ ヒ

トリガ ガムシ コクワガタ(雄と雌) アブラゼミ ハエ〈5500 匹〉 スズメバチ 以上 29 種

● 河川レンジャー養成講座最終日 実例発表で、北野君が竹蛇駕の取組みを発表 16 日

河川レンジャー養成講座最終日の実践事例発表で、レンジャー初年度、2 年目 4 年目などの経験者が活動を報告され、4 番目の事例発表を北野大輔君が行いました。この発表は、27 日行った近畿地方整備局主催の業務発表会で、奨励賞を受賞した「竹蛇籠の取組み」を発表した。前に発表されたレンジャー経験者 3 名の発表と比較するとダントツの内容で、分かり易さにおいても、素晴らしい発表でした。聴衆からの質問も数多く続き、伝えたい点が伝わったから質問が数多くあったのだと感じました。9 月 3 日に行われる第 16 回川に学ぶ全国大会の開会式基調講演の直後の全国事例紹介に発表することになっています。三日間の講座を受けて河川レンジャーに挑戦される皆さんには、どのように受け止められたでしょうか。

● 県外現地調査研修会日程決まる

8 月に計画している県外現地視察研修会は 9 日（火）午前 7 時新田辺駅を出発します。9 時に岐阜県海津町の本曾三川公園センター「水と緑の館」タワーを見学・本曾川について学習」13:30 豊田市のトヨタ会館で世界トップ企業を学びます。17:30 知多半島的美浜町、民宿「新栄館」で地元の歴史家から里山についてレクチャーを受けます。翌日 10 日は磨き砂の布土公園を視察し、里山農園での参考を学びます。その後 13:00 には名古屋平和公園の里山の家を視察します。10 日には桜谷先生のガイドでしっかり学びます。少し人数に余裕がありますので、希望者はご連絡下さい。なお 10 日の朝からは知多半島の先端、波豆岬を訪ねる予定です。

● 今年三回目「親子で遊ぼう学ぼう魚とり」23 日（土）開催 スタッフ応援を求めています

現在フタツは播川、深田、山村の 3 人です。応援に来てください、待っています 9 時に集合山城大橋西須家した駐車場にお越しください。現在の参加者は大人 44 人こども 57 人となっています。とてもスタッフが不足することになります。積極的なご支援をお願いいたします。

● 近畿水環境交流会 23 日（日） 大津瀬田ウォーターステーション

近畿の主な河川を巡って川にかかわる皆さんの情報や活動を発表し、交流を深める取り組みが 20 年近く行われてきました。今年は琵琶湖瀬田川畔ウォーターステーションで開催されます。一昨年は福知山由良川に参加しました。万障繰り合わせご参加ください。15 時から里山の会の活動紹介を行います。その後アルコール抜きの懇親会が計画されています。翌日の 24 日は午前中、周囲の清掃作業、そして午後からは E ボートを使ってチームでの 200m 往復の競争を行って、さらに交流を深め合います。暑さ厳しい折ですがご参加ください。

● 里山農園全面的に草刈りを実施 応援に来てください

梅雨が上がると農業では草刈りの時期を迎えます。稲もいよいよ茎が太くなりつよくなり、稲穂の準備となって実りへの運びになり、植物にとっては成長する最も大切な時期になります。この大成長の前に刈り取らなければさらに作業が困難になります。里山農園もご覧になればわかりますが、かなり雑草が生い茂っています。1 号地から 19 号地までしっかり茂りました。小屋に草刈機が準備されていますので、少しの時間でもいいので、目につくところから刈り取りを行ってください。特に斜面を優先的にお願いします。平地はハンマーモアで軽く刈り取れます。機械刈りのできない斜面や畔を手刈りでお願いいたします。